

議会報告会 報告書

担当班： 2 班 班代表者： 園田 依子

概要			
地区名 : 大芋地区 日時 : 平成 25 年 5 月 24 日 (金) 19:30 ~ 21:10 場所 : 大芋公民館 参加人数 : 30 人(男 27 人・女 3 人)	【出席議員】 園田依子 恒田正美 林 茂 小畠政行 吉田浩明 大上磯松	(1) 開会あいさつ : 園田 (2) 議会報告 : 大上 (3) 質疑応答 : 下記参照 (4) 意見・提言等 : 下記参照 (5) 閉会あいさつ : 吉田	挨拶・総括 : 園田 司会進行 : 恒田 報告・P P 操作 : 大上 受付 : 林・吉田 記録 : 林・吉田 写真・会場(マイク) : 小畠

【主な質疑】

質疑・意見	回答
・12 月の生活経済常任委員会を傍聴したが、質問の後、委員間の意見・討議が出されないまま採決された。もっと議員間討議を行うべきである。(人権条例・県道の請願)	・合議体であり、以前より改善しています。参考意見として伺っておきます。 ・このような意見が出たことを、全議員に報告しました。
・議員期末手当の 10%削減では、市民感情から納得がいかない。	・総額では 19 年度比で 20%削減されています。 ・このような意見が出たことを、全議員に報告しました。
・政策討論会として「農地の活性化・規制緩和」をしたが、農地の有効活用についてどんな討論があったか。	・内容は、農地取得条件の現行の 30 a を緩和するかどうかであり、担当常任委員会で調査研究していきます。

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・市役所周辺の道路の側溝に、夏場は草が繁茂していて篠山の恥をさらしている。また大雨で土砂が溝・河川に推積している。道路パトロールもされているが改善されていない。山裾の側溝が埋まっているが集落で対応するのにも限界がある。県の管理下もあるが対策をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・執行者に、意見があったことを伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・野猿対策について、電柵が補助対象事業になったと聞くが、その内容は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に4群、約180匹いるニホンザルの被害を防ぐため、平成24年度から、農家負担を5%に軽減し、サル用電気柵の設置を始めました。
<ul style="list-style-type: none"> ・県道の土手の草刈りで、県は1m幅しか刈らない。藤坂地内にはガードレールが25本あり、800㎡ほどは村で刈らなくてはならず、困っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・執行者に、意見があったことを伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長会と議会との協議懇談は開催されているが、まちづくり協議会と議会との関わりはどうか。必要と考えるが。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会に関する予算面について、議員から提言しています。
<ul style="list-style-type: none"> ・本郷・藤坂線期成同盟会の総会を含めた会合が最近開催されていないが、どうなっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再度申し入れします。
<ul style="list-style-type: none"> ・本市は西高東低と言われているが、予算配分等そういう事実はあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう事実はありません。定住促進重点地区に3年間の試行期間ではありますが、活性化諸政策を打ち出し、取り組んでいます。
<ul style="list-style-type: none"> ・特産物等は、丹波篠山産でPRされており効果がある。市名変更は、その後どうなっているのか。このままでは、丹波市に飲み込まれてしまうと危惧する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会を立ち上げて、メリット・デメリット等を調査しているところです。